

最後のメディアに挑む。



Medea

幹の会トリックプロデュース公演

原作Ⅱエウリーピデース
修辞Ⅱ高橋睦郎
演出Ⅱ高瀬久男

平幹二郎

若松武史

三浦浩一

廣田高志

城全能成

斉藤祐一

南拓哉

有馬真胤

石橋正次

音楽Ⅱ金子飛鳥
美術Ⅱ伊藤雅子
照明Ⅱ勝柴次朗
音響Ⅱ高橋慶
衣裳Ⅱ太田雅公
ヘアメイクⅡEET
振付Ⅱ田井中智子
演出助手Ⅱ渡邊さつき
舞台監督Ⅱ井川学
宣伝写真Ⅱ操上和美
宣伝美術Ⅱ山本利一
制作Ⅱ麻生かほり
協力Ⅱびあ株式会社
プロデューサーⅡ秋山佐和子
企画・製作Ⅱ幹の会/トリック

料金(全席指定・税込)=S席 10,000円/A席 7,000円 時間=11(水)・13(金)*19:00/12(木)・14(土)・15(日)*14:00
チケット取扱い=東京音協 03-5774-3030 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:415-438) <http://pia.jp/t> ローソンチケット 0570-084-003(Lコード:34858)
E+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯) 世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515 お問い合わせ=東京音協 03-5774-3030 www.t-onkyo.jp

2012年4月11日[水]~15日[日] 世田谷パブリックシアター ●一般前売開始1月20日(金)

チケットぴあ



石橋正次
乳母／コロス

有馬眞胤
守役／コロス

南 拓哉
家来・子供／コロス

斉藤祐一
家来・子供／コロス

城全能成
イアソン

廣田高志
隣国の太守／コロス

三浦浩一
クレオン／コロス

若松武史
コロス長

平 幹二郎
メディア

●みどころ

『王女メディア』はギリシア悲劇の三大作家の一人エウリピーデースの代表作です。

平幹二郎は一九七三年に男優として王女メディア役に挑み「長く記憶に残る演技」と高い評価を受けました。そして一九八三年にはアテネの舞台上に立ち、ギリシアでギリシア以外の国の人間がギリシア悲劇を演じて初めて絶賛を浴びるという快挙を成し遂げたのです。

いま最もダンディーでアクティヴな活動を続ける俳優として注目を集める平幹二郎の『王女メディア』が新演出で魅ります。二〇一〇年『冬のライオン』(幹の会トリック)の演出で紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞した高瀬久男の手腕にご期待ください。

メディアと渡り合う夫イアソンには、文学座の若手実力俳優として躍進を続ける城全能成が挑みます。そして演劇実験室天井桟敷の中心的俳優として活躍した若松武史、幅広いジャンルで多彩な活動を繰り広げる石橋正次、『冬のライオン』で葛藤する役どころを繊細に演じた記憶の新しい三浦浩一、存在感のある演技が光る有馬眞胤、実力俳優としての頭角を現す廣田高志ら、充実した共演陣が舞台を彩ります。

すべての固有名詞を普通名詞に置きかえた高橋睦郎の修辭により、古代ギリシアの神話的事件がいつの時代、どこかの場所でも起こり得る普遍的ドラマとして展開してゆきます。

ギリシア、アテネで三十分近くにも及ぶカーテンコールに包まれた平幹二郎の『王女メディア』。男性の地声で演じられるメディアは強烈で、猛々しく、人間の悲しみや怒り、様々な感情を大きなスケールで浮き彫りにしてゆきます。

平幹二郎がいまも「身体の中に棲みついている」と語る王女メディア。どうぞお見逃しなく！

「長く記憶に残る演技」と高い評価を受けた初演。あれから三十四年。いま平幹二郎が最後のメディアに挑む。

●あらすじ

コリントスのある屋敷から女の嘆く声が聞こえてくる……。

かつて、黒海沿岸の国コリスの王女メディアはギリシアのイオルコスからやって来たイアソンと恋に落ちた。イアソンが金羊毛を手に入れるため、力を貸したメディアは父を棄て、故郷を棄て、共にイオルコスへと向かったのだ。そしてイアソンから王位を奪った領主を殺害し、コリントスへと逃れてきたのである。

けれどもいま、イアソンは保身のため、コリントスの国王クレオンの娘を妻に迎えることを決めてしまった。クレオンはメディアとその二人の息子に国を出て行くよう命令を下す。不実をなじるメディアに、イアソンは子どもたちの将来のためを思っ

て新しい縁組を承知したと言ひ募るのだった。『さあ、まっすぐに怖ろしいことへつき進もう……女と生まれた身ではないか。善いことにかけてはまったくの力なし、けれども、悪いことにかけてなら、何をやらせてもこの上ない上手と言われる、女と生まれたこの身ではないか』

自らの運命を嘆き、呪い、そしてメディアは、復讐を決意する。

『この私をかよい女、いくじのない女だと、誰に思わせておくものか』――

2012年4月11日(水)～15日(日) 世田谷パブリックシアター

入場料—— S席10,000円・A席7,000円【全席指定・税込】

お問合わせ—— 東京音協 03-5774-3030 www.t-onkyo.jp

チケット取扱い—— 東京音協 03-5774-3030

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:415-438) <http://pia.jp/t>

ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:34858)

e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)

世田谷パブリックシアターチケットセンター 03-5432-1515

※開場は開演の30分前です※未就学児の入場は不可

4月	11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)
14:00		●		●	●
19:00	●		●		

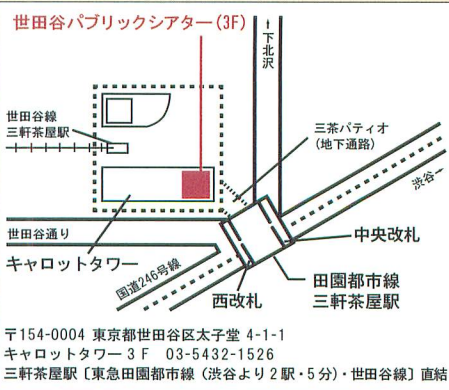
【託児サービス】(有料・定員制・要予約)

お問合せ03-5432-1530

【車椅子スペース】(定員あり・要予約)

ご利用希望の方は観劇前日までに劇場チケットセンターまでお申込みください。

一般前売開始
1月20日(金)



〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1
キャロットタワー 3F 03-5432-1526
三軒茶屋駅(東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・世田谷線)直結